

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和5年 2月 13日

事業所名

放課後等デイサービスれがって

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	利用者の状況により、個室でゆっくり過ごせるスペースを設置している。	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	利用者が増えても対応できるようにしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%	事業所内は段差を作らないよう、また同線を考え棚や机を配置している。	入り口に階段があるため、上がり降りにサポートが必要な方には2名以上でサポートする。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	会議や朝礼で情報交換と共有を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケートだけではなく、保護者と連携が取れるようコンタクトを取っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	入り口に常に掲示し、手に取れるようにしている。またホームページで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月1～2回、合同研修やミーティングを行い情報共有を行っている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	職員全体で会議を行い、多方面から分析、話し合いを行い、偏りのない計画を作っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	利用者のアセスメントは職員が共有できるよう管理しており、いつでも状況把握できる形をとっている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	会議を行い、意見を出し合っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	他事業所と情報交換を行い、新規活動や既存の活動の展開を模索する。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	利用者一人ひとりの特性に配慮し、無理なく充実した支援を心掛けている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個別、集団の活動目標を設定し作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	活動の打ち合わせ、確認を行い、役割分担をし、職員同士が互いの職務内容を把握できるようにしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	朝礼後のミーティングで情報交換と共有をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日記録を取り、支援の改善に対する話し合いを行っている。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	多方向からの意見で判断できるよう、職員全員の意見を聞いている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	意思決定支援に重きをおいて支援をしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児発管が参画し、担当者会議前後は全職員で情報の交換と共有を行っている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	利用者の様子や行事予定など、都度、連絡をこまめに取り連携を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	33%	67%	主治医や保護者と連絡が取れるよう、緊急連絡先一覧を作成し、病院、保護者を明記している。	現在は受け入れていないが、該当の利用者がいる際には連携を取っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	前利用施設に連絡を取り、情報交換と共有、連携支援に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	直接または相談支援事業所担当者を介して各施設へ連絡し、担当者会議等で情報を提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	児発管が研修に参加し、その内容を事業所内会議で全職員にも伝えている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		現時点では交流はないので、各所と連携を取り活動に取り入れられるようにしていきたい。コロナ終息後、検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	33%	67%		今後参加していけるよう、関係各所と連絡を取り情報収集を行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	保護者と定期的に面談や電話連絡を行い、利用者の様子を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	日々の連絡の中で信頼関係をしっかりと築き、なんでも話せる環境づくりをしている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	難しい文言や専門的な用語は言い換えながら説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	緊張せず参加してもらえるよう、リラックスできる雰囲気作りを心掛けている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		コロナの影響により滞っているが、感染防止対策や保護者の状況を配慮しながら検討する。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	保護者の思いを十分に聴き取り、場合によっては各所と連携を取るなど早急な対応をしている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月だよりやSNSツールを用い、活動の様子を知らせている。	
	35 個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	ふりがな付の書面作成や、電話・対面での直接説明を行っている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	67%		コロナの影響により滞っているが、状況次第で対応していきたい。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	誰でも手に取れるよう、事業所入り口に掲示している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	訓練を定期的に行い、避難場所や方法が理解できるようにしている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	毎日虐待防止のチェックを行い、周知徹底している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	利用契約書および個人支援計画に明記し、保護者へ十分な説明を行い了解を得ている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者に確認し、指示書に基づき対応している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットの作成と同時に職員間での共有を行っている。	